**12月2日Ｖ・チャレンジリーグⅠ**

**対戦相手　VC長野トライデンツ**

**スタートメンバー　中川、浅野、岡村、新、岩井、横田、**

**リベロ芳賀**

**リーグ7戦目1LEG最終戦の相手は現在首位のVC長野トライデンツとの対戦。**

 **1セット目、両チームとも緊張からかミスが目立つ展開となる。徐々に試合にも慣れてきて熱を帯びると、両チーム共に持ち前のディフェンス力を発揮し、一進一退の攻防が続く。終盤、富士通のサーブエラーが続き、流れを失うと、ホームの大声援に後押しされた長野にブロックを決められ、29-31で1セット目を失う。**

 **2セット目、今シーズン初めて1セット目を失った富士通だったが、浮き足立つことなく2セット目のスタートから攻め続ける。新のテンポの良いトスを中川が決め続けリードを奪うと、岡村もブロックを決め中盤に一気に突き放す。長野も粘りを見せるが富士通は冷静に対処しこのセットを25-19で奪い返す。**

 **3セット目、このセットも富士通は勢いのあるバレーを展開する。リベロ芳賀の身体を張ったレシーブを始め、ディフェンスで負けない気持ちを存分に発揮する。オフェンス面は横田、岡村のクイックが決まり始め、富士通優位の展開となる。しかし、終盤に長野のリリーフサーバーが出場すると、3連続失点で同点に追い付かれる。それでも富士通は好レシーブから岩井がスパイクを決め、連続で相手のエースをブロックするなど大活躍し、25-22でこのセットも富士通が奪う。**

 **4セット目、いいスタートを見せた富士通だが、相手のサーブに押され、逆転を許してしまう。しかし、ここからキャプテン中川が力を発揮する。ブロック、スパイク、サーブと得点を奪いまくり富士通に流れを呼び寄せる。富士通優位のまま終盤戦に突入。ここでリリーフサーバーの志波がナイスサーブで流れを引き寄せ3連続得点を奪い富士通が25-19でこの試合に勝利した。**